

もりや仙一郎便り

県政報告 Vol.58



さくらんぼハウス

資材高騰、更新できず

9月定例会で質問 県の聞き取り調査開始

山形県議会9月定例会・予算特別委員会が9月28日に開かれ、農業、観光、インフラなどの項目で質問しました。今号では質疑内容を一部抜粋してご紹介します。特に、さくらんぼ農家を困らせている「老朽化したハウスの更新資材代の高騰」について訴えたところ、県の聞き取り調査がこのほど各市町村ではじまりました。新しいハウスへの更新は20年前と比べて現在約3倍の費用がかかります。中小農家ではハウスを更新できずに廃園してしまうケースが出ており、今後も増える見込みです。今後も産地維持・拡大を続けていくために、いま対策を図る時期です。



▲アーチのサビ

もに廃園が多く発生する。営の中小規模農家では家計と経営の会計区分がさくらんぼの雨よけ施設は平成26年で2,200枚、結果樹面積の76%の設置率だ。佐藤錦が急速に普及・拡大した平成2年から同11年までの10年間で、現在のハウス設置の約半分にあたる1,160枚で導入され、耐用年数を過ぎてもギリギリまで使用を続けてきた施設が、いよいよ更新時期に来ている。

農林水産部長

▲寄宿舎

より良い学び舎整備が重要 山形県立盲学校を単独視察



▲寄宿舎

さて、こうした設備は持ち主自身で建て替えるのが当たり前だが、資材単価の高騰が激しく10年前と比較して1.8倍、20年前と比較すると3倍に膨れ上がっている。後継者のいない高齢の農家では老朽化したハウスを維持するのが精一杯だ。このままではハウスと内て大半を占める家族経営に、トップランナーや認定農業者、農業法人などは会計基準に基づき、初期投資した施設設備など雪などで倒壊など広範囲に被害が発生した場合にその再建を支援してきた経過もある。この課題については多角的な視点から実態を把握、分析し、引き続き検討を重ねていく。

さくらんぼ施設整備について

さて、こうした設備は持ち主自身で建て替えるのが当たり前だが、資材単価の高騰が激しく10年前と比較して1.8倍、20年前と比較すると3倍に膨れ上がっている。後継者のいない高齢の農家では老朽化したハウスを維持するのが精一杯だ。このままではハウスと内て大半を占める家族経営に、トップランナーや認定農業者、農業法人などは会計基準に基づき、初期投資した施設設備など雪などで倒壊など広範囲に被害が発生した場合にその再建を支援してきた経過もある。この課題については多角的な視点から実態を把握、分析し、引き続き検討を重ねていく。

森谷



9月定例会・予算特別委員会 質問項目

- さくらんぼの生産振興に向けた基本的な考え方について
- さくらんぼの施設整備について
- 政府への要望活動について(国道48号線整備)
- 宮城県との連携について(国道48号線整備)
- 今後の治水対策について
- 外国人観光客に向けた取り組みについて

山形・宮城で統一 国道48号線の整備促進について

整備構想が上がっている迂回できる事前通行規制区間のバイパストンネルは、要望項目として具体的に明記されていないが、両県一致した考えが必要だ。今後の要望展開について考えは、

これまで宮城県、仙台市と連携し、国土交通省に要望してきた。その成果は着実に上がっている。

国土整備部長

国土整備部長 国土整備部長は、①雪崩対策や落石・法面崩壊対策、②線形不良区間の解消と交通安全対策、③地域高規格道路の早期整備に大別される。地域高規格道路の整備促進以外については、こ

治水対策について 天童市乱川2箇所対策工事

森谷

甚大な被害があった茨城県常総市の鬼怒川決壊を背景に、本県の河川状況をみると、国管理に比べて県管理の河川で危険箇所が多いことが危惧される。河川合流地点で、河川の流れが一旦抑えられる箇所では一時増水になり、堤防越水などが心配される。天童市では県管理の乱川において、国道48号線に架かる本郷橋付近で川幅が狭くなっていることから、奥羽山系に大雨が降った際、危険になるのではと感じている。県では県管理の危険箇所の把握をどのように行い、どのような危険性があると考えているのか。その結果をどのように治水対策に反映させるのか。

国土整備部長

河川施設の状態から危険度を判断したものに重要水防箇所がある。水防計画において、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視・点検が必要な箇所を指定したものだ。県管理河川で重要水防箇所は141河川、269箇所あり、天童市の乱川では10箇所が指定されている。これらの箇所は県のホームページで公表している。河川改修の実施では戦後最大規模の降雨への対応を目標することになり、県内の重点整備区間で早期の治水効果が現れるよう年度目標を定めて段階的に進めていく。

また、重要水防箇所の解消を目的に局所的な対策事業を実施する。現在乱川の2箇所をはじめ、県内41箇所対策工事を実施している。いずれも人家などの保全対象施設の状況、想定される浸水被害の規模などから優先順位を定め、順次取り組むものの箇所数も多く、完了までに時間を要する課題がある。今後の治水対策はこれらハード対策に加え、水防訓練の円滑化や迅速な住民避難の支援のため、河川情報の提供などソフト対策の充実も図っていく。

前通行規制区間の解除に向け、バイパス化も視野

国土整備部長は、国土整備部長は、①雪崩対策や落石・法面崩壊対策、②線形不良区間の解消と交通安全対策、③地域高規格道路の早期整備に大別される。地域高規格道路は、自動車専用道路もしくは同等の規格を有し、概ね60km/h以上の走行サービスを提供できる道路。国道48号線を地域高規格道路として整備する場合、全線にわたり、このような条件を満たすことが必要になる。そのため、整備の負担が大きく宮城県・仙台市との合意が得られない。本年からは事

山形盲学校は県内で唯一の盲学校で、県内各地から集まった児童、生徒数は現在20名。そのうち学校に併設する寄宿舎で生活する生徒が12名。月曜日自宅から学校に通い、金曜日また自宅に帰るシステムです。

この寄宿舎をはじめて見学しましたが、築50年になろうという施設は老朽化によって生徒・職員の方々が不便とする箇所が多く見られました。初めて訪れた人は「ここに世話になるのか」と不安な気持ちになった人もいます。

また、同校に通う生徒たちは、高等部を卒業すると一般高校と違って、多様な進路は選べません。大半があんま、マッサージの施術を頼りに進路を決めることとなります。学校では専門の先生方のきめ細かい指導と、生徒が技術を身につけられるよう、施設関連の特殊な器具を置いた教室があります。この学び舎での訓練が生徒の将来につながると思うと、一つひとつが重要で、より良い環境を整えることが課題と感じました。

もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3丁目 4-17

もりや仙一郎 検索

ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。 QRコードでアクセス